KNEADER

パンニーダー

Kneader for Bread

品番: PK1201／PK1201S

取扱説明書

一般家庭用

このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書は必要なとき、すぐに取り出せるように大切に保管してください。
この取扱説明書をよく読んで理解してから、パンニーダーを使用してください。
本製品は日本国内専用です。海外ではご使用いただけません。

目次

安全上のご注意 — 必ずお守りください — 2
- 本書で使用しているマークについて
- 警告
- 注意
- 使用上のお願い

各部のなまえとはたらき 4
- 主要部分のなまえ
- 操作部

パン作りをはじめる前に 6
- パンニーダーの特徴
- パン作りの基礎知識
- パン作りの道具
- パンニーダーの準備

ご使用方法 8
- シンプルな使い方
- スピード調整の仕方
- 工程ボタンの使い方

お手入れ 12
- 取り外し
- 本体
- ポット、ポットカバー、羽根

故障かな?と思ったら 14

アフターサービスについて 15

仕様 16

安全上のご注意

—必ずお守りください—

ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

●誤った使い方をしたときに生じる内容を次のように区分していきます。

⚠ 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
⚠ 注意	人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が予想される内容

本書で使用しているマークについて

●本書で使用しているマーク(絵表示)と意味は、次の通りです。

絶対に行わないでください。	火気近くでの使用は、絶対に避けてください。	電源プラグは必ずコンセントから抜いてください。
手を触れないでください。	水が飛び散る場所での使用は、絶対に避けてください。	電源プラグはぬれた手で抜き差ししないでください。
修理技術者以外の人は、修理しないでください。また改造は行わないでください。	必ず指示にしたがって、行ってください。	

本製品の使用にあたっては、警告•注意に書かれていることを守り、事故が発生しないよう心がけてください。
また、本製品の使用者•管理者は、本製品の内容を理解していない方に操作させないでください。

⚠ 警告

電源プラグのほこりを取り除く

ほこりが付着した状態で使用すると、感電や火災の原因になります。

電源コードを傷つけたり、加工したりしない

傷ついた状態や加工した状態で使用すると、感電や火災の原因になります。

電源コードは無理に曲げたり、引っぱったりしない

電源コードが傷ついて、感電や火災の原因になります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。

電源コードにものを載せたり、踏んだりしない

人の行き来が頻繁な場所に、電源コードを配線しないでください。電源コードが傷ついて、感電や火災の原因になります。

⚠ 警　告

本体は絶対に水洗いしない

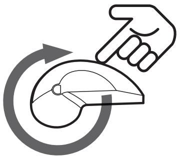
本体内部に水が侵入して、感電や故障の原因になります。

使用時以外（部品の取り付け・取り外し・お手入れする時を含む）は電源プラグをコンセントから抜く

けがをする恐れがあります。製品本体をお手入れする場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから、作業を行ってください。

回転中は羽根に触れない

けがをする恐れがあります。特に幼児・年少者の手が届くところでの使用はひかえてください。また、ポットの中に手を入れる場合は、羽根の回転を止めてから行ってください。



分解や改造をしない

分解や改造をすると、異常動作や発火の原因になります。また本製品の内部には、感電する恐れのある高電圧部分や、その他の危険な部分があり、人身事故に至る恐れがあります。この取扱説明書に記載した以外の内部点検・調整・修理は、当社サポートデスクにご相談ください。

電源は交流100V専用コンセントを使用する

感電や故障の原因になります。

タコ足配線しない

許容電流オーバーで、感電や故障の原因になります。

⚠ 注　意

不安定な場所や、粉・油で汚れた机の上では、使用しない

本製品の落下・横転により、けがをする恐れがあります。必ず水平かつ安定した状態で使用してください。また、本製品の脚の裏側も使用前にふくことをおすすめします。

60℃以上の材料を入れるときは、ポットカバーを必ず使用する

吹きこぼれによるやけどの原因になります。

壁や家具の近くで使用しない

壁や家具に密着させて使用すると、モーターの冷却が不十分となり、過熱・故障の原因になります。また、壁や家具にも変形・変色の恐れがありますので、本製品は壁面より5cm以上離して使用してください。

火気または水とびの近くでは使用しない

火災や、本体内部に水が浸入して感電の原因になります。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

材料は決められた量以上使用しない

モーターへの負担が大きくなり、故障の原因になります。

ポットカバー上部にものを載せない

運転時の振動で落下し、破損やけがの原因になります。

操作パネルに水をかけない

電気回路が故障する恐れがあります。ぬれた場合は、乾いた布などですみやかにふき取ってください。

使用上のお願い

◆次のような場合は、すぐに運転を停止し、電源プラグを抜いてから、当社サポートデスクにご相談ください。

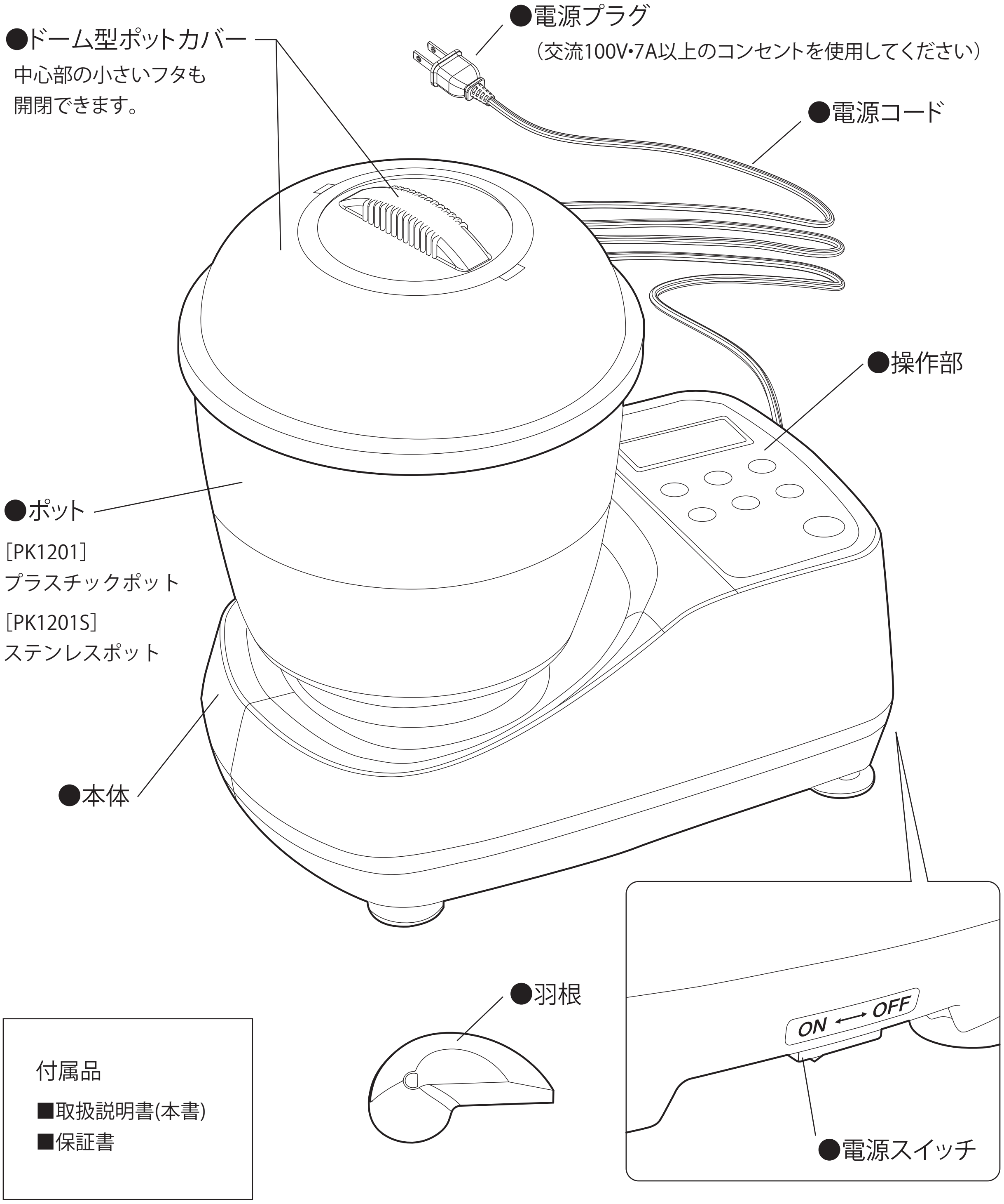
・ブレーカーがたびたび「切」になる場合
・ボタンを押しても作動しない場合
・電源コードやプラグが破損したり、すり切れたりした場合
・落下などで変形した場合
・本体（フレーム）内に液体が入った場合
・長時間風雨にさらされた場合
・煙が出たり、異臭がしたり、取扱説明書にしたがって操作しても正常に動作しない場合
・手や異物が羽根に巻き込まれるなどして、危険が生じた場合

◆製品に添付されている警告ラベルには、安全のための重要な注意事項が記載されていますので、以下のことを守ってお使いください。

・本製品に貼られているラベルは、常に読める状態で使用してください。また、他の機材で隠したりしないでください。
・取り外したり、改変しないでください。
・汚れたり、破損した場合は、新しいラベルに張り替えることをおすすめします。ラベルのお求めについては、当社サポートデスクにご相談ください。

各部のなまえとはたらき

主要部分のなまえ



付属品

■取扱説明書(本書)
■保証書

操作部

表示部

タイマーの設定時間、工程番号、モーターの設定スピードなどが表示されます。

[工程]ボタン

工程を選択できます。押すたびに、設定モードが変わります。
通常モード→工程1→工程2→…→工程9→通常モード→…

[クリア]ボタン

工程時間の設定の場合は工程時間が「00」にクリアされます。

スピード設定の場合はモーターの回転表示が「SP-0」となります。

モーターの回転中はモーターの回転表示が「SP-0」となり、回転が停止します。

[M]ボタン

タイマーの「分」を設定します。押すと表示部の分の箇所が点滅し、もう一度押すと確定します。

[S]ボタン

タイマーの「秒」を設定します。押すと表示部の秒の箇所が点滅し、もう一度押すと確定します。

[ー] +]ボタン

タイマーの設定・変更に使います。押し続けると、連続して数値が増減します。

タイマーの設定・変更以外の場合はスピードを設定します。
[SP-0]…[SP10]（最高スピード）の10段階が設定可能で す。
[SP-0]では、モーターが停止します。

[スタート／ポーズ]ボタン

各工程の開始や中断、アラームを止めるときに押します。

※「PK1201S」（ステンレスポットタイプ）の場合でも、本体には「PK1201」と記載されております。

パン作りを はじめる前に

パンニーダーの特徴

①パン生地のために作られた羽根

本製品はポットに装着された「特殊な羽根（特許取得）」が最適な状態にこね上げ、美味しいパンの生地を作ります。

②温度管理を考慮したポット配置

パン作りに一番大切な温度管理がしっかりできるように、ポットを本体の外に出しました。

③生地作りの工程をタイマー管理

パン作りの工程を自由にアレンジできます。

④簡単お手入れ

ポットや羽根は、取り外し可能で丸ごと洗えます。

⑤1回に作ることのできるパン生地の分量

[PK1201] 小麦粉 250g～1.2kg　[PK1201S] 小麦粉 600g～1.2kg

上記以外の分量でご使用になると、うまくこねられなかったり、故障の原因となることがありますので、必ずお守りください。

パン作りの基礎知識

①パンは温度に敏感です

室温・水温は発酵に影響してパンの仕上がりを左右します。

〈水温の目安〉　夏：15～20℃　冬：30～35℃

②材料を室温に戻しましょう

特にバターや牛乳、卵は冷たいまま使うと発酵に影響します。

③材料は正確に量りましょう

計量を間違えると生地が固くなったり、やわらかくなりすぎたり、仕上がりに差がでます。

パン作りの道具

●最低限用意したいもの

①生地作り… はかり、ゴムべら、温度計

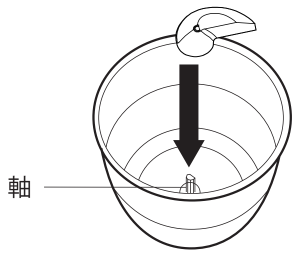
②成形… めん棒、カード

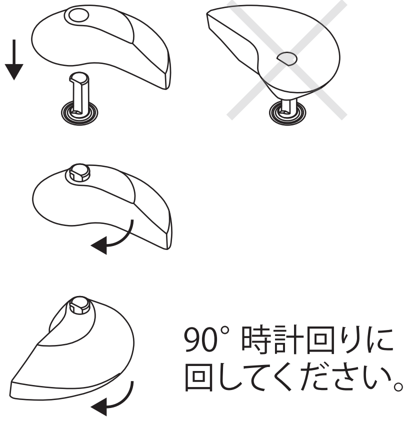
◆その他に用意したいもの
霧吹き、はけ、クープナイフ、焼き型（食パン型など）

パンニーダーの準備

1 ポットに羽根を取り付る。

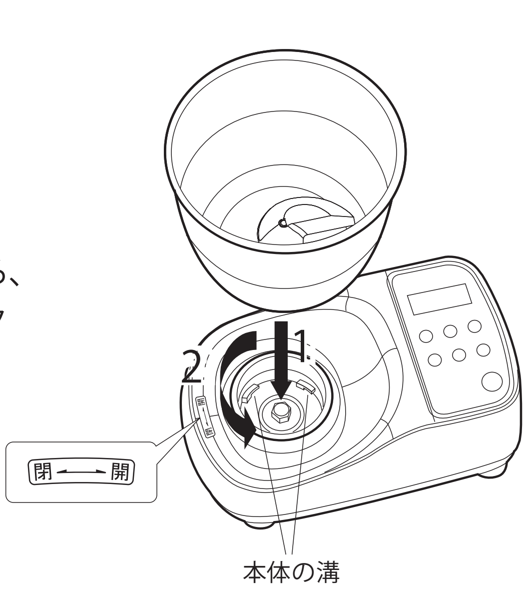
ポットの中心にある軸に、羽根の中心の穴を合わせて差し込んでください。





2 電源プラグがコンセントから外れていることを確認してから、ポットを本体に取り付る。

ポット下部を本体の溝にうまく合わせながら、「閉」の方向（本体貼付ラベル参照）にロックされるまでしっかり回してください。



3 電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチをONにする。

ご使用方法

シンプルな使い方

1 安定したところにおく。

2 電源スイッチをONにする。

3 時間を設定する。

［分の設定方法］

Ⓜ を一回押すと分表示が点滅します。

⊖ ⊕ で分を設定します。※

最後に Ⓜ を押すと確定します。

［秒の設定方法］

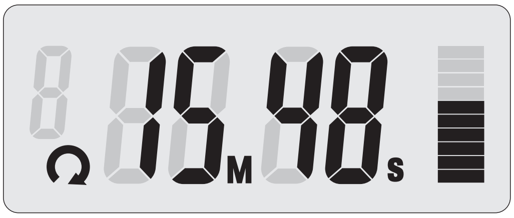
Ⓢ を一回押すと秒表示が点滅します。

⊖ ⊕ で秒を設定します。※

最後に Ⓢ を押すと確定します。

※点滅中に Ⓒ を押すと「00」になります。

4 ▶|| を押して、スタート。



もう一度 ▶|| を押すと回転が止まります。

5 終了後アラームが鳴ったら ▶|| を押す。

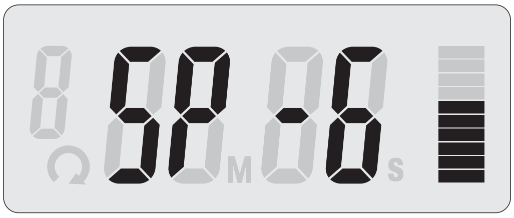
スピード調整の仕方

⊖ ⊕ でスピード調整ができます。
（時間設定中はスピード調整はできません。）

SP 10	最高スピード
SP -9	はやい
SP -8	
SP -7	
SP -6	ノーマル
SP -5	
SP -4	
SP -3	
SP -2	
SP -1	おそい
SP -0	モーター停止

※「SP-6」（ノーマル）時の回転数は、無負荷状態で、毎分約300回転です。（50/60Hz）

・スピードは初期設定で「SP-6」（ノーマル）になっています。



・スピード表示は数値（SP-0）とバーグラフで表されます。
・回転中でもスピードを切り替えることができます。

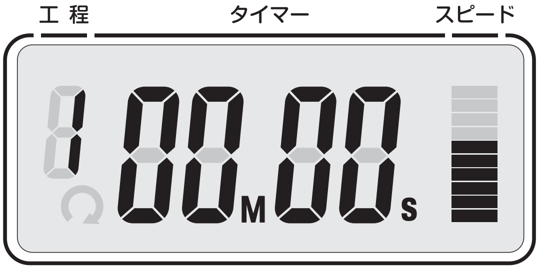
工程ボタンの使い方

工程ボタンによって、あらかじめ本機に工程を記憶させて、こねと発酵を自動で連続動作させせることができます。
9工程まで、登録できます。

例：ニーディング→発酵→ニーディング→発酵の４工程の場合

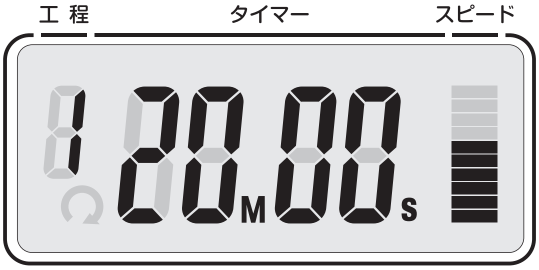
工程1：ニーディング20分

1 を押す。



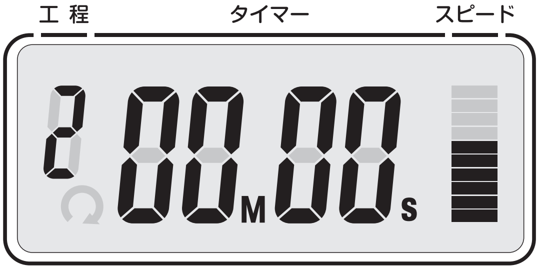
2 時間とスピードを設定する。

時間の設定方法は8ページを、
スピードの設定方法は9ページを
参照してください。



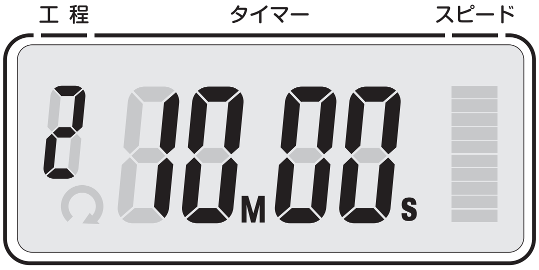
工程2：発酵10分

3 を押す。



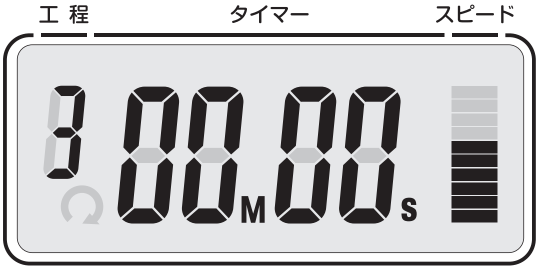
4 時間とスピードを設定する。

ここでスピード０にすると、
回転することなく、
タイマーだけがすすみます。

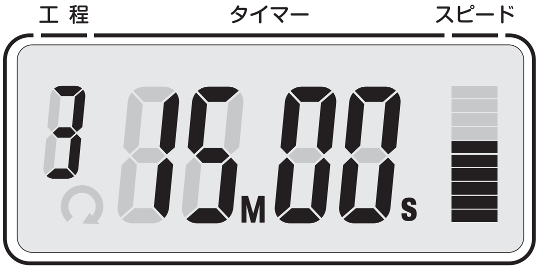


工程3：ニーディング15分

5 を押す。

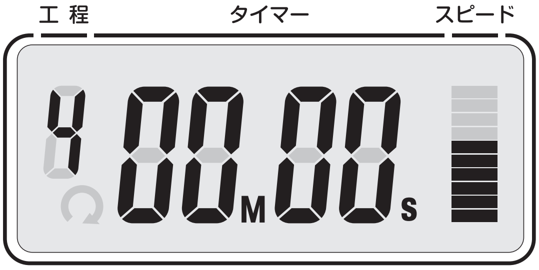


6 時間とスピードを設定する。



工程4：発酵45分

7 を押す。



8 時間とスピードを設定する。

9 工程が1になるまで、を繰り返し押す 。

10 を押して、工程をスタートする。

11 最後の工程終了後、アラームが鳴ったら、を押す。

注意

- 途中の工程では、タイミングをお知らせするアラームは鳴りません。
- 電源スイッチをOFFにすると、お買い上げ時の状態に戻ります。
- 発酵中に自動で温度を調節する機能は付いておりません。

お手入れ

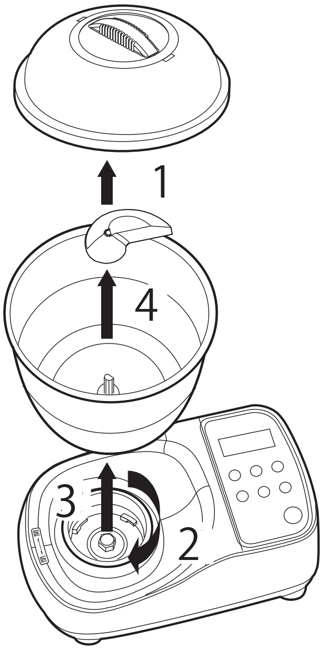
お手入れは、使用ごとにこまめに行ってください。

注意

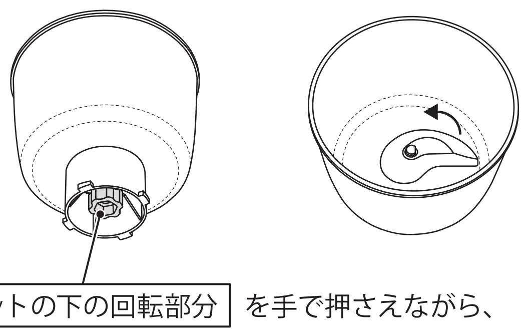
- 必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- ベンジン、シンナー、磨き粉などは、表面を傷つけますので、使わないでください。特に羽根を傷つけると、ニーディングがうまく行えず、パン生地のでき上がりに支障をきたしますので、気をつけてください。
- 生地の洗いカスは、直接流しに捨てないでください。粉の固まったものは、水に溶けにくいので、パイプなどが詰まる原因になります。
- 作業後は、必ずポットの軸から羽根を取り外してください。放置すると生地が固まり羽根が取りにくくなることがあります。

取り外し

ポットカバー、ポット、羽根の順に外す。



【羽根の取り外し方】



ポットの下の回転部分 を手で押さえながら、羽根を反時計回りに回すと取り外すことができます。

※ご使用後にポットを長時間放置しますと、羽根が取れにくくなる場合があります。

ご使用後は、<u>なるべく早くポットから羽根を取り外す</u>ことをお勧めいたします。

本体

本体表面の汚れを、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。

汚れがひどいときは、柔らかい布を水で濡らしてから、固くしぼってふき取り、最後に必ずからぶきしてください。

ポット、ポットカバー、羽根

水またはぬるま湯で、洗ってください。

汚れがひどいときは、食器用中性洗剤をスポンジや布に含ませて軽くこすってから、水またはぬるま湯で洗い流してください。

ポットについての注意

・水を入れたまま長時間放置しないでください。腐食したり羽根取付軸が回らなくなることがあります。
・落ちにくい汚れのときは、食器用中性洗剤を水でうすめて霧吹きなどを使って吹きかけ、15 ～ 20 分程おき、水でよく洗い流してください。
・岩塩は、使用しないでください。傷がつく恐れがあります。

羽根についての注意

・羽根が外れない時は、ぬるま湯を少し入れてしばらくおき、羽根についた生地をやわらかくしてから外してください。
・羽根の穴につまった生地は、柔らかいブラシなどを使って取り除いてください。

●保管するときは

・汚れや水分をふき取ってください。
・ポット、ポットカバー、羽根を十分に乾燥させてください。

故障かな？
と思ったら

修理を依頼する前にお確かめください。

症状	お調べいただくこと
ボタン操作ができない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ もしくは、電源スイッチがOFFになっていませんか？ →　電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチをONします。
何も表示されない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ もしくは、電源スイッチがOFFになっていませんか？ →　電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチをONします。
本体をさわると熱い	使用直後ではありませんか？ →　使用中および使用直後は本体が熱くなります。ただし煙が出たり、異臭がしたりする場合は、すぐに運転を停止し、電源プラグを抜いてから、当社サポートデスクにご相談ください。
工程が進行しない	時間設定が0になっていませんか？ →　工程時間を設定してください。
回転しない	スピードが0になっていませんか？ →　スピードを設定してください。
動作中に「キー」という音がする	羽根が回転していますか？ →　羽根が回転しているときに、「キー」という音がすることがありますが、異常ではありません。
「E001」と表示される	モーターロック異常です。 →　当社サポートデスクに修理をご依頼ください。

上記表にしたがって対応しても改善されない場合は、当社サポートデスクにご相談ください。

お問い合わせの際、品番、製造番号および操作部の表示内容についてお尋ねすることがありますので、事前に確認をお願いします。

品番→操作部または本書の表紙に記載されています。

製造番号→本体下面のラベルに記載されています。

操作部表示→表示内容がある場合。

アフターサービスについて

修理・お取り扱い・部品ご購入などについてのご相談は、当社サポートデスクまでお問い合わせください。

●保証期間について

保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

・保証期間中の修理
保証書の記載内容により、当社サポートデスクで対応致します。

・保証期間後の修理
修理すれば使用できる製品は、お客様のご要望により、有償にて修理致します。

●補修用性能部品の保有期間

当社は、本製品の補修用性能部品※を製造打ち切り後、6年間保有しています。

※性能部品：その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●消耗品について

以下の部品は消耗品です。交換が必要になりましたら、当社サポートデスクにご相談ください。

・プラスチックポット：表面が磨耗して生地がポットの表面に付着しやすくなった場合。
・ステンレスポット：テフロンコーティングが磨耗し、ステンレスの地肌が見えた場合。
・羽根：表面が磨耗して生地が羽根の表面に付着しやすくなった場合。

〈当社サポートデスク〉

・電話番号：0120-481-484　（フリーダイヤル）
※受付時間：10：00〜17：00　月〜金曜日（土・日、祝日、弊社休業日を除く）
・ホームページ：http://kneader.jp

●製造番号について

製造番号を本製品の識別番号として使用しています。
本体下面のラベルに製造番号が記載されていますので、必要なときすぐに確認できるように、下の枠内に番号とお買い上げいただいた日付を記入しておいてください。

9桁の数字が記載されています。

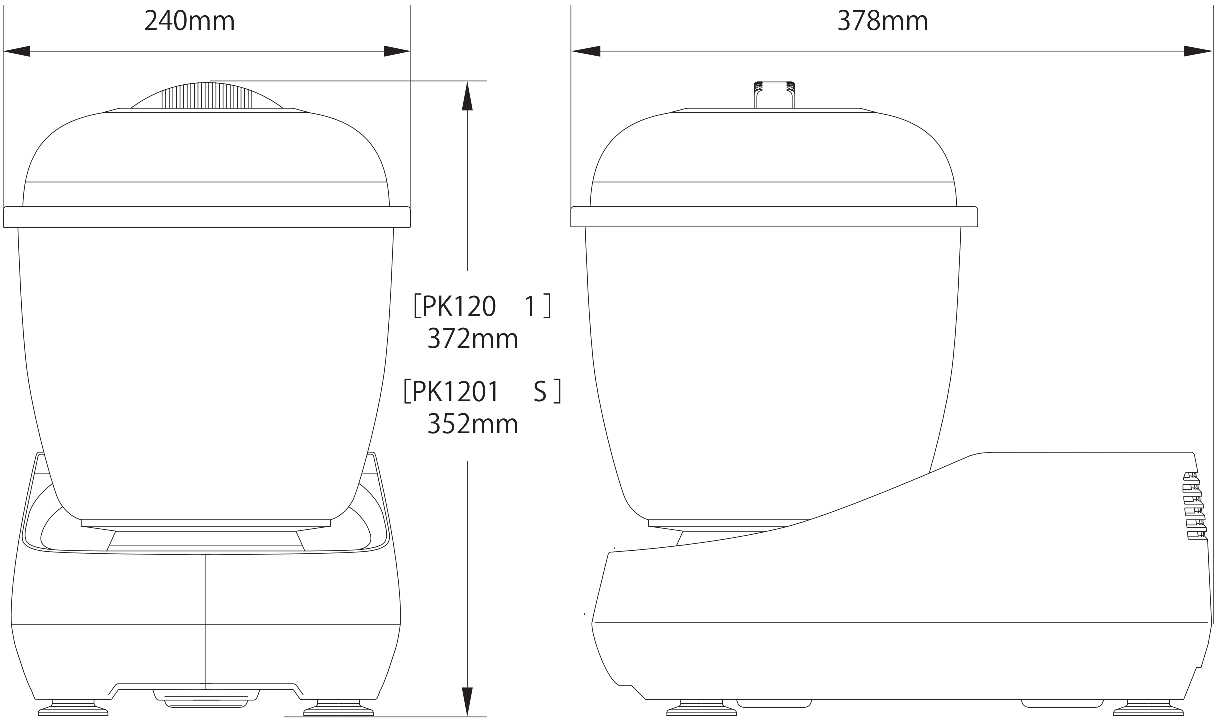
製造番号		購入年月日	年　月　日

仕様

主な仕様は以下のとおりです。

電源	交流 100V 50／60Hz　　共用
消費電力	120W
標準容量（粉量）	［PK120　1］小麦粉250g～1.2kg
	［PK1201　S］小麦粉600g～1.2kg
外形寸法（幅x奥行きx高さ）	［PK120　1］378×240　×372mm
	［PK1201　S］378×240　×352mm
質量	［PK120　1］約5.5kg
	［PK1201　S］約6.0kg
コード長	約1.5m

■外形寸法図



※製品改良のため、仕様および外観の一部を予告なしに変更することがあります。
あらかじめご了承ください。

・本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。
・本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
・本書の内容について、誤りや記載漏れなどお気づきの点がありましたら、お手数ですが当社までご連絡ください。

KNEADER

日本ニーダー株式会社

[東京営業所]
〒140-0013
東京都品川区南大井6-26-2　大森ベルポートＣ館 2F
http://kneader.jp

602A50281